令和７年１１月６日
教育委員会施設課

北九州市立思永中学校温水プールの指定管理者候補の選定について（概要）

１　指定管理者候補

（１）対象施設

北九州市立思永中学校温水プール

（２）候補

名　称：スピナ・シンコースポーツ共同事業体

所在地：北九州市八幡東区平野二丁目１１番１号

構成団体：株式会社スピナ、シンコースポーツ九州 株式会社

（３）応募状況

説明会参加：８団体

応募件数：３団体

・九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体
（学校法人国際志学園、特定非営利活動法人北九州スポーツクラブＡＣＥ）

・西日本スイミングクラブ有限会社

２　指定期間

令和８年４月１日～令和１３年３月３１日（５年間）

３　選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

４　検討会

（１）検討会構成員（５名）※五十音順

［有　識　者］植田　詩生（株式会社福岡リビング　リビング北九州編集長）
［保護者代表］藤井　身依（北九州市ＰＴＡ協議会　副会長）
［財務専門家］増田　幸一（中小企業診断士）
［学識経験者］南　博　　（北九州市立大学　地域戦略研究所　教授）
［学識経験者］森　誠護　（九州共立大学　スポーツ学部　教授）

（２）開催日

令和７年９月３０日（火）

（３）検討結果（◎の団体を選定）

配点	スピナ･シンコースポーツ共同事業体	九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体	西日本スイミングクラブ有限会社
１１０	◎８９	７９	７７

（４）検討会における検討結果

三つの団体からそれぞれ特色のある、非常に意欲的な提案がなされた。三団体とも優れた点がある中で、スピナ・シンコースポーツ共同事業体は総合的に評価が高く、安定感があった。合計得点では、スピナ・シンコースポーツ共同事業体が最も高い点となっている。各構成員の５段階評価を単純合計（項目ごとの配点比率を考慮しない場合）すると、スピナ・シンコースポーツ共同事業体を最も高く評価した構成員は３名であり、人数で見ても多い。

本検討会として、総合点が最も高いスピナ・シンコースポーツ共同事業体を思永中学校温水プール指定管理者候補に相応しいと判断する。

市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

なお、付帯意見として、「教育施設としての本義を鑑み、提案の目的を達成するような事業運営を行っていただきたい。」を付す。

５　選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、スピナ・シンコースポーツ共同事業体を指定管理者候補に選定した。

【市による主な選定理由】

・代表団体、構成団体ともに公共施設の指定管理者としての実績があるとともに、組織としての総合力、信頼性が評価できる。
・安定した財政基盤や、施設の特性を踏まえた人員確保により、思永中学校温水プールの安定的な管理運営が可能と考えられる。
・施設の設置目的の達成にあたっては、施設の役割遂行、公平・平等な施設運営、安全・安心な施設管理など８つの基本方針を定め、その方針に基づく具体的なアクションプランが提案されており、実効性のある確実な管理運営が期待できる。
・券売機の導入や複数の業務を担える人材育成など業務の効率化が期待できるとともに、再委託を最小限に抑えるなど、コスト削減とサービス品質の維持を図る提案がなされている。
・手堅く確実な提案に加え、企業の安定性と総合力で、着実な管理運営が期待できると考える。

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第２４４条の２第６項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和７年１２月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

１　指定概要

（１）施設概要

名　　称：北九州市立思永中学校温水プール

所　在　地：北九州市小倉北区大門一丁目５番１号（思永中学校敷地内）

施 設 内 容：①施設概要

プール：メインプール　２５ｍ×７コース（水面積３５０㎡）

幼児用プール　（水面積５０㎡）

駐車場：５６台（うち２台身障者用）　など

②事業内容

・管理運営業務（受付、使用料徴収、プールの監視・安全管理等）

・施設の維持管理業務（各種法定点検、軽微な修繕等）

・その他（学校との連携、市民のスポーツ振興に資する事業等）

※機械警備及び施設の維持管理については思永中学校を含めた一体管理とします。

（２）指定期間

令和８年４月１日～令和１３年３月３１日（５年間）

※本施設は、運営実績が優良な事業者の指定期間を５年から１０年に延長する「更新制」を導入します。

（３）指定管理者候補の概要

名　称：スピナ・シンコースポーツ共同事業体

所在地：北九州市八幡東区平野二丁目１１番１号

構成員の主な業務内容：

①株式会社スピナ（代表）

施設統括、管理、定期清掃、日常清掃（プールを除く）、保守点検、機械警備、その他維持管理業務全般、施設の簡易運営全般の総括など

②シンコースポーツ九州 株式会社

利用の受付・許可・料金収受、案内、電話対応、プール運営業務全般（監視・利用者案内・接客・応急処置・救護等）、自主事業運営管理、広報など

２　指定の経緯

令和７年７月１７日　募集要項配布
令和７年９月５日　　募集締め切り
令和７年９月３０日　指定管理者検討会の開催
令和７年１１月　　指定管理者候補を決定

（１）応募資格

① 法人、その他の団体であること。（個人による応募は不可）
② 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
③ 申請意向届出書を提出していること。（共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。）
④ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低１団体は地元団体とすること。

（２）応募状況

説明会参加：８団体
応募件数：３団体
・九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体
（学校法人国際志学園、特定非営利活動法人北九州スポーツクラブＡＣＥ）
・西日本スイミングクラブ有限会社

３　選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

４　検討会構成員

［有　識　者］植田　詩生（株式会社福岡リビング　リビング北九州編集長）
［保護者代表］藤井　身依（北九州市ＰＴＡ協議会　副会長）
［財務専門家］増田　幸一（中小企業診断士）
［学識経験者］南　博（北九州市立大学　地域戦略研究所　教授）
［学識経験者］森　誠護（九州共立大学　スポーツ学部　教授）

5　選定基準等

選定基準（＝審査項目）及びポイント
1　指定管理者としての適性
（1）施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
①　応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
（2）安定的な人的基盤や財政基盤
①　長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
（3）実績や経験など
①　応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
②　応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
③　複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2　管理運営計画の適確性
【有効性】
（1）施設の設置目的の達成に向けた取組み
①　施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
②　利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
③　複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
④　施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
（2）利用者の満足度
①　利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
②　利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
③　利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
④　利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
⑤　その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
【効率性】
（3）指定管理料及び収入
①　指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
②　収入が最大限確保される提案であるか。
（4）収支計画の妥当性及び実現可能性
①　収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
②　経費の配分は適切であるか。
③　積算根拠は明確であるか。
④　再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】
（5）管理運営体制など
①　施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。

	② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
	③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
	④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
	⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
（６）平等利用、安全対策、危機管理体制など	
	① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が十分に考えられているか。
	② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
	③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。
	④ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
	⑤ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。
（７）社会貢献・地域貢献	
	① 高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。
	② 労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
	③ ＳＤＧｓの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
	④ 地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
	⑤ 地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
	⑥ 市民の雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗　率	評価レベルの考え方
5	１００％	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	８０％	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	６０％	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	４０％	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	２０％	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	０％	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6　審査結果

（1）評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目）及びポイント	配点	評価レベル 構成員 A	B	C	D	E	[redacted] 審査結果	得点
スピナ・シンコースポーツ共同事業体	1　指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	3	3	4	5	4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	4	4	4	5	4	4
	(3) 実績や経験など	5	4	4	4	4	4	4	4
	2　管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	3	4	4	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	4	3	4	3	6
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	4	4	3	4	4	4	12
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	4	3	4	4	4	8
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	3	3	4	4	4	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	4	4	3	4	4	8
	(7)社会貢献・地域貢献	10	3	3	3	3	4	3	6
	合　　計	110	77	75	81	83	89		84
	地元団体に対する優遇措置（5 点）								**89**
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体	1　指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	3	2	4	4	4	3	3
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	3	3	3	4	3	3
	(3) 実績や経験など	5	4	3	3	3	4	3	3
	2　管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	2	4	4	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	2	3	4	4	3	6
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	3	3	4	4	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	3	3	4	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	3	3	3	4	4	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	3	3	4	4	3	6
	(7)社会貢献・地域貢献	10	4	3	4	3	4	4	8
	合　　計	110	75	57	75	84	86		74
	地元団体に対する優遇措置（5 点）								**79**

西日本スイミングクラブ有限会社	1　指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	3	5	3	4	4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	2	3	3	4	3	3	3
	(3) 実績や経験など	5	3	5	3	4	4	4	4
	2　管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	2	4	3	5	3	3	18
	(2) 利用者の満足度	10	3	4	3	3	3	3	6
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	4	3	4	3	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	3	3	4	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	3	4	3	4	4	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	4	3	4	4	4	8
	(7)社会貢献・地域貢献	10	3	3	3	3	4	3	6
	合　　計	110	59	85	66	90	74		72
	地元団体に対する優遇措置（5 点）								**77**

（2）検討会における主な意見

【スピナ・シンコースポーツ共同事業体】

・他施設の指定管理を多く手掛けており、手堅い提案がなされていた。
・冒険しすぎることなく確実に実現可能な提案であり、安心して任せられる運営が可能であると感じた。
・安定性が高く、着実な指定管理が期待できるが、地域貢献の部分についてはさらに踏み込んだ取り組みを行うべきである。
・財務の観点やこれまでの実績、組織体制を勘案すると問題なく任せることが可能であると考える。
・総合力は他団体と比較し最も高い。
・「水泳授業を行うとともに、教育上支障のない範囲で」に関する質問に対し、望んでいた回答ではなかった。

【九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体】

・これまで利用されていないニーズを取り込むためのユニークなサービス事業の提案がなされており、心惹かれる部分も多かった。
・提案自体は非常に面白いものだが、施設設置の目的や思永中学校温水プールの運営にはそぐわないと感じられた。
・具体的かつ狙いが明確であり、従来の枠を超えた非常に意欲的な提案がなされている。一方で、施設の特性を勘案するとやや冒険的すぎると感じた。
・直接的に安全対策や維持管理を行う企業が協力企業である点で、意思決定等に不安が残る。

【西日本スイミングクラブ有限会社】

・これまでの経験もあり、思永中学校温水プールについてよく理解している。

・学校教育に関し理解されているが、数字のミスや運営上の財務的な点で不安が残る。
・実績に裏打ちされた取り組みは十分期待できるが、施設利用者増に向けた取り組み等に不足感があると感じた。
・提案団体の中で、最も学校を中心として考えられた提案がなされていた。
・財務面や企画等がやや弱いと感じた。

（３）三つの団体からそれぞれ特色のある、非常に意欲的な提案がなされた。三団体とも優れた点がある中で、スピナ・シンコースポーツ共同事業体は総合的に評価が高く、安定感があった。合計得点では、スピナ・シンコースポーツ共同事業体が最も高い点となっている。各構成員の５段階評価を単純合計（項目ごとの配点比率を考慮しない場合）すると、スピナ・シンコースポーツ共同事業体を最も高く評価した構成員は３名であり、人数で見ても多い。

本検討会として、総合点が最も高いスピナ・シンコースポーツ共同事業体を思永中学校温水プール指定管理者候補に相応しいと判断する。

市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

なお、付帯意見として、「教育施設としての本義を鑑み、提案の目的を達成するような事業運営を行っていただきたい。」を付す。

７　選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、スピナ・シンコースポーツ共同事業体を指定管理者候補に選定しました。

（１）選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

（２）市における主な選定理由

・代表団体、構成団体ともに公共施設の指定管理者としての実績があるとともに、組織としての総合力、信頼性が評価できる。
・安定した財政基盤や、施設の特性を踏まえた人員確保により、思永中学校温水プールの安定的な管理運営が可能と考えられる。
・施設の設置目的の達成にあたっては、施設の役割遂行、公平・平等な施設運営、安全・安心な施設管理など８つの基本方針を定め、その方針に基づく具体的なアクションプランが提案されており、実効性のある確実な管理運営が期待できる。
・券売機の導入や複数の業務を担える人材育成など業務の効率化が期待できるとともに、再委託を最小限に抑えるなど、コスト削減とサービス品質の維持を図る提案がなされている。
・手堅く確実な提案に加え、企業の安定性と総合力で、着実な管理運営が期待できると考える。

８　提案額

令和　８年度　88,778 千円
令和　９年度　88,778 千円
令和１０年度　88,778 千円
令和１１年度　88,778 千円
令和１２年度　88,778 千円

北九州市立思永中学校温水プールに関する提案概要

審査項目		スピナ・シンコースポーツ共同事業体	九州医療スポ―ツＡＣＥ共同事業体	西日本スイミングクラブ有限会社
1　指定管理者としての適性について		（１）　施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 当事業体は、「まちとひととを思いやり、学校水泳・スポーツ・健康増進の拠点として永くあり続け、新たな公共施設活用モデルの中心に」というコンセプトを掲げています。施設の設置目的である「学校水泳授業」と「市民のスポーツ振興および健康増進」を確実に実現・達成することをミッションとしています。教育現場の一部でありながら、市民にも開かれた学びと交流の拠点として、安全・安心な運営を第一に、教職員の負担軽減や地域との連携にも貢献します。	（１）　施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 ■理念：ZERO-100 プロジェクト × エンタメ型市民プール～0 歳から 100 歳まで、誰もが主役になれるプール～→健康・教育・地域交流の拠点化 ■基本方針：関わる全ての人にとって価値ある施設へ ・市民：安全・健康・楽しみを提供し、学びにつなげる。 ・北九州市：健康寿命延伸、教育充実、若者定着、地域活性化。 ・運営者：人材育成、学生への現場教育、地域貢献。	（１）　施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 ・市民コミュニティの拠点としての運営管理 ・施設機能や市民の利便性の向上、市民のスポーツ振興健康増進 ・快適性・利便性を追求したサービス品質の向上 ・安全面衛生面を最重視したプール運営
		（２）　安定的な人的基盤や財政基盤 当事業体は、代表団体の株式会社スピナと構成団体のシンコースポーツ九州株式会社からなる共同事業体です。両社は「桃園公園・城山スポーツ施設」の指定管理者として約 6 年間の実績があり、良好な関係性を築いています。 【（代表団体）株式会社スピナ】創業 72 年の地元企業で、市内で 3 件の指定管理者実績を持ち、社内に建物維持管理の専門部門を有しています。また、西鉄グループの 100％出資会社として、不動産事業を中核に長年にわたる黒字経営を継続しており、安定した収益基盤があります。 【（構成団体）シンコースポーツ九州株式会社】公共スポーツ施設管理の専門企業として、九州エリアでトップクラスの 61 施設の実績を持ち、プール施設管理や学校水泳授業に関する専門知識が豊富です。設立以来 14 年間で黒字経営を維持しており、自己資本比率や利益剰余金が優良企業の基準を満たしています。	（２）　安定的な人的基盤や財政基盤 ■人的基盤：公共施設運営に精通した経験者を所長に配置／指定管理業務や施設維持管理に実績ある人材を確保／教員免許保持者、医療資格者（医師・柔整師・看護師等）、救命士、スポーツトレーナー、弁護士・社労士・税理士まで幅広い有資格者を保有／消防・警察 OB、大学教授、行政職員など幅広いネットワーク／学生や若手人材も積極的に活用し、教育と地域雇用の場を創出 ■財政基盤：共同企業体はともに安定した経営基盤を持ち、毎年堅調な経常利益を計上。持続可能な財政基盤を保有。	（２）　安定的な人的基盤や財政基盤 ・平成21年４月からの 15 年間北九州市思永プール PFI 事業、令和 24 年４月から１年6ヶ月の業務委託を経験した、経験豊富な職員を継続雇用します。また、西日本スイミングクラブグループ、北九州市内3校、春日市1校、宮崎市2校の経験豊富な職員のバックアップ体制を構築し安心安全な管理をします。
		（３）　実績や経験など 当事業体は、北九州市内のスポーツ施設で複数の指定管理者実績を有しています。特に、両社が共同で管理する北九州市桃園市民プールは、本事業と類似した運営体制であり、近隣中学校の水泳授業受け入れ実績もあります。構成団体は、九州エリアでプール施設 12 件の管理実績があり、福岡県内の小学校の水泳授業受託実績も豊富です。これらの経験と専門性を活かし、安全管理と利用者サービス向上に貢献します。	（３）　実績や経験など ■プール管理の確かな評価と実績あり（他施設／市内）。 ■学校兼用の市民プール運営の経験（他施設／市内）。 ■公共施設（体育館・スポーツ施設・文化施設）の豊富な実績。 ■専門企業との強力なネットワークによる補完体制。	（３）　実績や経験など ・平成21年４月からの 15 年間北九州市思永プール PFI 事業、運営業務、施設管理担当を行ってまいりました。 ・平成 21 年度から中学校水泳授業、平成29年度から西小倉小学校水泳授業補助業務、令和7年度から、日明小学校・到津小学校水泳授業補助業務を行っています。
2　管理運営計画の適確性	【有効性】に関する取組み	（１）　施設の設置目的の達成に向けた取り組み 施設の役割遂行、公平・平等な施設運営、安全・安心な施設管理など８つの基本方針を定め、設定したアクションプランに基づき管理運営を行います。一例として、8 つの基本方針①施設役割の達成に記載しているアクションプランは、学校水泳授業の安定開催（管理不足による休講 0）と、市民向けサービスとして年間利用者数 30,000 人以上を目標として掲げております。	（１）　施設の設置目的の達成に向けた取り組み ■5つの視点とアクションプラン ①ZERO-100 プロジェクトの展開：乳幼児から高齢者、障がい者まで多様なプログラム。 ②エンタメ性の高い市民プール：コミュニケーションと賑わいを創出。 ③若手が活躍できる場：地域で働き続ける人材を育成し、若者定着に貢献。 ④チャレンジの場：新規プログラムや地域活動を試みる「実験的フィールド」として機能。 ⑤維持管理のポテンシャル向上：予防保全重視、安全安心の徹底、ICT 活用による情報共有。	（１）　施設の設置目的の達成に向けた取り組み ・市民のスポーツ振興、健康増進一般開放の充実 ・近隣の小中学校水泳授業利用の拡大、学校利用時の指導補助業務。 ・西小倉市民センター等との施設連携による施設利用の効率化を図る ・自主事業及び市民の利用拡大を行うための広告を年 4 回ほど行う。
		（２）　利用者の満足度 利用者満足度向上のため、アンケート集計アプリ「Forms」やご意見箱の設置を通じて、多角的に意見を収集します。収集した意見は毎月「運営ミーティング」で協議し、迅速に対応する仕組みを構築します。指定管理期間５ 年間で、施設利用満足度と職員対応満足度を 80％から 85％に向上させることを目標とします。	（２）　利用者の満足度 ■利用者が「安全・安心・快適」に過ごせる環境を整備することを重視。 ■老朽化は避けられないが、「古い」と「汚い」は別物 → 清潔さ・快適性を徹底。 ■「また来たい」と思える施設体験を提供し、リピーターを増加。 →快適な施設環境づくり、エンタメ性・イベントによる楽しさの提供、サービスの質向上	（２）　利用者の満足度 ・一般開放業務時の利用時の満足度は高い数値を維持していると思われるので、新たな満足度向上の取り組みを行います。 ・アンケートでの意見、窓口での苦情に関しては集約し改善できる事案は職員に対して周知を行いより一層利用者に対しての利便性をよくする。 ・利用に対しての情報提供は、館内掲示物及び出入口に掲示。北九州市ホームページで行う

	【効率性】に関する取組み	（１）　指定管理料及び収入 業務効率化を図るため、券売機の導入やマルチジョブシステム化を推進し、人件費を削減します 。削減できたコストは従業員教育や利用者サービスに充当します。自主事業（水泳教室、物品販売など）の収益は、指定管理業務の費用に全額還元し、安定した運営に繋げます。	（１）　指定管理料及び収入 ■指定管理料を効率的に活用しつつ、施設価値の向上と利用者増を目指す。 ■公共サービスとしての安定運営を最優先にしながら、自主事業収入を拡大して市の財政負担軽減にもつなげる。 ■自主事業により利用者満足度・集客力を高め、結果として指定管理料依存度を低下させる。	（１）　指定管理料及び収入 ・経費削減を行います。 ・自主事業収入・小中学校指導補助業務の充実拡大。
2　管理運営計画の適確性		【提案額】 令和8年度　88，778千円 令和9年度　88，778千円 令和10年度　88，778千円 令和11年度　88，778千円 令和12年度　88，778千円	【提案額】 令和8年度　88，778千円 令和9年度　88，778千円 令和10年度　88，778千円 令和11年度　88，778千円 令和12年度　88，778千円	【提案額】 令和8年度　88,496千円 令和9年度　88,388千円 令和10年度　88,339千円 令和11年度　88,339千円 令和12年度　88,339千円
		（２）　収支計画の妥当性及び実現可能性 5 年間平均の事業費は年間約 91,900 千円で、維持管理費と人件費が約80%を占めます。自主事業からの利益還元分は約 3,100 千円を見込んでおり、指定管理料の満額と合わせて経費を補填する計画です。再委託を最小限に抑え、自社施工管理や自主修繕を推進することで、コスト削減とサービス品質の維持を図ります。	（２）　収支計画の妥当性及び実現可能性 ■指定管理料を基盤としながら、自主事業による収益を積極的に拡大。 ■安全・安心な施設運営を優先しつつ、コスト効率を高めて持続可能な運営を実現。 ■「確実に達成可能な計画値」を設定し、赤字リスクを徹底回避。 ■収支の見込みに無理がなく、既存実績と専門体制で裏付けられており、実現性が高い。	（２）　収支計画の妥当性及び実現可能性 ・収支計画はこれまでの 15 年間の北九州市立思永中学校 PFI 事業の運営業務、施設管理の経験を基に経費削減を行います。
	【適正性】に関する取組み	（１）　管理運営体制など 代表団体が施設維持管理業務全般を、構成団体がプール運営管理業務全般を担当し、役割と責任を明確に分担します。責任者、副責任者、プール責任者など、有資格者を含む適正な人員配置を行い、有事の際にも迅速に対応できる体制を構築します。	（１）　管理運営体制など ■教育機関＋NPO＋専門企業の連携による、唯一無二の管理体制。 ■公平性・透明性を担保する第三者委員会（アドバイザリー委員会）を設置。	（１）　管理運営体制など ・北九州市立思永中学校 PFI 事業 15 年間の運営業務、施設管理、また、施設運営業務委託１年６ヶ月に関わってきたスタッフを継続採用し、知識体験を活かし要望・クレーム等の対応を行い運営を行います。職員には、日本赤十字社水上安全法指導員、日本赤十字社水上安全法救助員、日本赤十字社救助法救急員、資格を有する。1 年に 1 回救助員、救急員の講習実技を受ける。
		（２）　平等利用、安全対策、危機管理体制など 【平等利用】条例に基づき、個人の信条、性別、年齢などに関わらず、公平・公正な施設運営を行います。【安全対策】独自の「プール管理運営マニュアル」を整備し、プール特有の事故リスクに備えた訓練を実施します。監視員は「CTPS システム」を運用し、利用状況に応じた配置で効率的な監視体制を構築します。【金銭管理】券売機の導入や金銭に関わる部分への防犯カメラ設置など、コンプライアンスを徹底します。	（２）　平等利用、安全対策、危機管理体制など ■平等利用：市民が誰でも安心して利用できる多様性を尊重した環境づくり。 ■安全対策：有資格者による監視＋研修＋予防保全、各種マニュアルの整備。 ■危機管理：マニュアル整備・法令順守・情報共有・訓練・研修実施。	（２）　平等利用、安全対策、危機管理体制など ・個人情報保護の重要性を職員に理解させ、漏えい、紛失が起きないように体制をとります。 ・高齢者、障がい者、幼児を含む全利用者に対して公平かつ安心安全に利用できるように接客指導を行います ・事故後の対応、事故の未然防止に努め、安全管理マニュアル整備と有資格者との連携訓練を行います。 ・利用者対しての盗撮行為を防止対策として職員に防止対策を徹底させる。 ・自然災害、犯罪等の防止のため、警備会社への夜間、休館日の連携
		（３）　地域貢献・社会貢献 北九州市内に本社を置く地元企業として、清掃美化活動や地元スポーツチームの応援など、地域に根差した活動に積極的に取り組みます。また、障がい者や高齢者の雇用促進にも努め、SDGs の理念普及にも貢献します。	（３）　地域貢献・社会貢献 「教育・健康・地域活性・安全・連携」を軸に信頼される施設運営などを通じて、思永中温水プールを「地域の交流拠点として健康と人材を育み、安心・信頼のある公共施設として地域及び社会に貢献する。	（３）　地域貢献・社会貢献 ・高齢者、障がい者でも活躍できる場を設けます。 ・職員に対しては月 1 回のミーティングでの意見・希望を集約し労働環境を改善します。 ・近隣の西小倉市民センター等との施設連携によって施設利用の効率化を図ります。 ・建物設備点検・保守点検・修繕等は地元事業と連携します。 ・利用者に対して利用案内作成、施設利用ルールを作成する ・SDGs北九州市基本構想に対応する構築する

北九州市立思永中学校温水プール　指定管理者検討会　会議録

１　開催日時　　令和７年９月３０日（火）　１３：１５～１６：３０

２　場　　所　　小倉北区役所（小倉北区大手町１番１号）７１０会議室

３　出 席 者　　（検討会構成員）　植田構成員、藤井構成員、増田構成員、
南構成員（座長）、森構成員
（事務局）教育委員会学校支援部長、施設課長、管理係長

４　会議内容

○ 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
○ 構成員の互選により、座長を選出
○ 検討会の流れ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明

○ 応募団体（スピナ・シンコースポーツ共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

（構成員）　自主事業について、広報に力入れるということだが、立地場所等考えて、自主事業の計画に示されたような教室の開設を見込めると考えている、その根拠的なものがあれば教えていただきたい。仮にうまくいかない場合は、全体の収支に影響が出てくるかもしれないが、思うように自主事業が展開できなかった時にも、指定管理業務本体の方は円滑に進められるのか。

（応募団体）　自主事業についての根拠について、ＰＦＩの時の管理されていた事業者がやっていた教室をベースに作成した。その教室をやっていたのが昨年までである。現在行っていない状況で、利用者が離れていることを配慮し、最初は少なく、年々増やしていく計画であり、そこに無理をするということはないと考えている。

自主事業は、思うようにいかないという面に関しては、運営に支障はない。様々な宣伝広報も行っていきながら、収益を求め、代表企業と業者間で協議していく。

（構成員）　人件費が様式によって金額が違うが。

（応募団体）　税抜きと税込み価格で、様式１２の方は最後に消費税を計上する形になっている。事業全体に消費税がかかるというような収支計画になっている。

（構成員）　自主事業の人件費は別途なのか、この中に入っているのか。

（応募団体）　別途、外部講師を当てている。人員配置計画の中には入っていな

い。
（構成員）　アルバイトの単価はいくらで見ているか。
（応募団体）　当社の社会保険加入しているものやそうでないもの、交通費や雇用保険など含めて具体的にいくらというのはない。
（構成員）　合計１，５００円くらいか。
（応募団体）　それぐらいの費用。
（構成員）　監視員の方が安いか。
（応募団体）　あくまでも１週間の時間数によって違う。
（構成員）　配置計画表の人件費と違うということか。
（応募団体）　これは夏季限定アルバイトの２か月分。
（構成員）　毎年どのくらいのベースアップを見込んでいるのか。市で上昇率があったがその通りか。
（応募団体）　会社の定期昇給とか、直近の福岡県内の最低賃金６５円アップを踏襲している。スピナとシンコースポーツそれぞれ企業の考え方はあるが、試算としては毎年、定期昇給を約６６円と見込んでいる。
（構成員）　収入見込みの自主事業の数字は指定管理料に合わせた数字になっているが。
（応募団体）　最終的な不足分を自主事業利益でカバーする。
（構成員）　広報戦略について、これまでの実績があるということで、かなり細かい広報戦略立てられている。幅広い世代や、施設の利用者に広く届くような自主事業が大事になるが、桃園プールのほうで、一番効果的だった広報の手段は何か。また、支出の広告費について、ホームページ制作費が主だと思うが、求人募集については、施設の求人にかかるものか、もしくはチラシや折り込みにかかる経費が含まれているか。
（応募団体）　桃園については、ホームページ、ＳＮＳ、インスタ、ラインを使っている。５月にこども真ん中イベントをした際に、北九州市の小学校にチラシを配布し、そこでインスタの友達になったらゲーム１回無料という仕組みとした。今インスタの方でも大体合わせて五、六百名ほどフォロアーがいる。やっぱり若い方は、インスタを見られている。かき氷販売等、夏季の期間中に熱中症対策を行ったが、インスタ見てきたという方が結構いらっしゃったので、思永中においても、セールスの活用が必要だと考えている。
　支出の広告の件については、初年度は１６０万円でちょっと高めであるが、ホームページの初期構成費がかかっている。翌年度からは１００万ぐらいをベースに見ている。このうちホームページ管理費用は２０万円ぐらい。残り８０万のうちの３０万円ぐらいは、求人募集費用になるので、全体で５０万ぐらいをチラシやＷｅｂ広告に活用していく。
　求人募集費用についても、桃園が年間４０万ぐらいかかってる。それよりも規模が小さいということから、少なめに当てている。
（構成員）　利用者数が目標設定３万人以上ぐらいで設定しているが、過去の

利用状況を見ると、思永中は多い時は８万人いってた時がある。水泳教室除いても７万人を超えてる時期があった。減少の原因は何だと考えているか。

（応募団体）　一番はコロナの影響がある。どの施設も令和２年ぐらいから利用者が下がってきていて戻っていないという印象である。他の施設に来ていただく利用者さんたちが他の施設を拠点に活動されているところが一番だと考えている。

（構成員）　他のプールを利用していると考えている。

（応募団体）　一番はそれが理由かと。

補足として、戸畑区の浅生スポーツセンターが開業してからは、そちらの近くを使うようになるなど、新しい施設ができたらどうしてもそちらに流れていく。

（構成員）　多分利用者数の数は、授業で利用している人も含まれていると思うが、授業をしなくなったとか、水泳自体からそもそも逃げてるというか、そこを確保しないといけないと思う。だからたくさん事業をするためにどういう考えなのか。水泳から離れてしまった利用者をどうやってプールに戻すかっていうこの二つを最後にお聞かせいただきたい。

（応募団体）　水泳から離れてしまったというのは確かにあるというふうに思うが、北九州水泳協会の詳しいスタッフや北九州の水泳連盟さんにお話を聞くと、小倉南区でも少しずつスイミングクラブがなくなっているという現状が今ある。思永中学校でもやっていた既存の団体さんも、利用者数が以前に比べて減っているから、もう事業をやめたという話も、我々の桃園のスタッフを通じて聞いている。水泳の人口をどう増やしていくかというのは、全体的に子どもの数が減っているので、以前のように増えることはないが、学校水泳授業を通じて、思永中は学校水泳事業の拠点であるため、我々の自主事業につなげたり、これまで行っていないような広報戦略に力を入れていくことが思永中でスイミングも行っているという、まずそこの意識づけが重要である。

（構成員）　授業に関しては、例えば５月から１０月まで使える期間があるとしたら、実質使っているのは６、７月と一部９月である。５月１０月も使えるけど使わない、でも使える。そこをどう考えるか。

（応募団体）　桃園公園で、５月に子どもさん向けのイベントをした。テーマとしては、今までやったことないスポーツをまずゲームとして体験してもらって、その後スポーツ続けていただきたいということで、弓道とか、テニスとか、いろんなスポーツを複合的にイベントとして行ったが、そういったイベントを思永中学校でも行いたいと考えている。

プールをやったことないお子さんに、体験できるきっかけづくりが、イベント等でできればと考えている。

（構成員）　実際にプール利用される方の中には高齢者が多く、今後も増えてくる可能性があるが、その高齢者向けの考え方、広報も含めての考え方は。

（応募団体）　高齢者のシニア向けの教室は、企画をしているのでその中で、高齢の方でも、全く問題なく入れる教室だと考えている。実際のウェブ広告など、ご高齢の方がわからないという声もある一方で、ホームページとかないぞって言われることもある。デジタル化の広報は問題ないと思っているし、リーフレットも併せて、今回作成する予定になっているので紙とデジタルをバランスよくやることで、高齢の方にも周知することができると考えている。

（構成員）　券売機で対応できるのは、一回券だけか。定期券や回数券については受付で人とのやり取りなのか。

（応募団体）　券売機で回数券が１０枚綴りでできるような設定もできるので、実際に金銭の授受的には券売機の方でやって都度、回数券額が定期券を確認するのは、窓口ですることを想定している。

（構成員）　他のスイミングスクールに行っている小学生が多いと思うが、バスの送迎の予定はあるか。

（応募団体）　我々西鉄バス北九州のグループ会社になるが、この指定管理の中では、専属バスというのは正直ちょっと難しい。ただ、いろんな位置的にも素晴らしい場所にあるので、館内への時刻表の掲示や、ご質問があればどういうアクセスで乗り換えたらよいとか、そういったお手伝いは西鉄グループとしてさせていただきたい。

我々も事業計画する中で、過去にはスクールバスを走らせている中で、あれだけの事業者数が確保できたというのもある。やはりいろんなことを考える上でコストもそうだし、考えた時に立地面であれば、バスを選択されなくても集客ができるのではないかなと。近隣の施設よりもちょっとその分価格帯は抑えて、参加を募ることで、集客が見込めるのではないかと想定をさせてもらった。

（構成員）　学校から小学生が来るのに、中学生は授業時間に支障がないが、小学生だと着替えたりするのだけですごく時間がかかって、プールに入る時間がほとんどないということを聞いたので。

（応募団体）　そういったお客様の声が多数あるということであれば、今後どういった形でできるかは今ここでお話できないが検討していきたい。

○　応募団体（九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

（構成員）　エンタメ性を高めることによって新たな部分が増える可能性もあれば、一方で敬遠される可能性も思うが、プラスマイナスでどのように戦略を立てているのか。

（応募団体）　具体的には、一般的な市民プールとしての運用がベースである。現状の午前中は高齢の方が歩いている、夏休み期間は１レーン、２レーンだけ子どもたちが遊んでいる中で、新しい使い方、例えばこの日は全部遊べるだったり、遊べる日を作ったり、それも含めてのエンタメ性。現行の運用にこだわらないことをするのと、いろんなことをやっていくと、それが嫌だという人もいるが、それを続けることによっ

て、よいところもあるねっということになってくる。やらないよりやるというところで考え、現状同じことを多少増やして教室が増えたというところであっても、目標人数を微々たる超える程度　なら、いろんな人にとって楽しいと思ってもらえるように、各種事業を展開していくと考えている。

　健康寿命を伸ばす時に、一番大事なのは運動であるが、公共の場に出るのは嫌な人もいる。今、そういう人にどう運動を促すかということがとても大切であるため、何かこの場で解消できたらよいと考えている。

（構成員）　今のいろんなエンタメ性とか、これを企画するスタッフは誰がするのか。また、ＡＣＥさんと大学さんの役割のすみわけはどうか。

（応募団体）　１点目の企画は誰がするのかは、基本的には現場の人間。ＪＶ管理部門は我々も含めて、月１回ミーティングや企画を組むのは基本管理部門で、人件費には計上できない部分。普段からそれぞれの法人で勤務している人間が担当。管理として、企画は現場に下ろす、逆に現場も含めてやりたいということがあれば、ミーティングの中でもできるということ。

（構成員）　本部にそういう人材がいるという理解でよいか。

（応募団体）　できる人間も設置予定。統括できる人材を配置する。

（構成員）　統括責任者っていうのは、１５年以上で、６０代。できそうだとも思うが、本部がバックアップする。企画はするけど、馬原さん呼ぶのは何とかできそうだけど。現実的には難しいのだろう。企画して、それが広まって楽しんでくれるというのはできればよいが、企画倒れが多い。

（応募団体）　そういう仲間が結構いる。

（構成員）　監視業務を外注するのは、結構人材がいるのではないか。コスト的にどうか。

（応募団体）　監視業務は自前で指定管理者がそのまま雇用した場合、警備法の観点からわからない。例えばアルバイトでも無研修でも、できてしまう。ただそこはこれまでコアズさんは思永中の監視業務をされているし、市内の市民プールの西側のエリアは、ほぼ監視業務はコアズさんが受けている。そういった中で、我々は企画に専念する意味でも、監視業務をお任せするという形を今回とる。

（構成員）　人材の育成はどうか。

（応募団体）　そこに関しては、学校授業を受け入れる時に必要に応じて監視業務を学校から若い人材をということを考えている。

（構成員）　施設維持管理６，６００万と結構大きい。

（応募団体）　そこはトータル人件費みたいな形なので、大きいがそれよりも安全安心というところで運営の足を引っ張らないようにというところで考えた。

（構成員）　自主事業について、幅広くどの年代の人も参加できるようなプログラムを複数挙げていただいているが、集客が大事になってくる。初

年度から全部できるのか、少し数を絞り込んでから徐々に増やしていくのか。広報費については、どの程度の金額を見込んでいるのか。

（応募団体）　北九州に作った学校のコンセプトは、一流の人を養成するということ。安価なセミナーを受けて、現場で働きながら、北九州でプロになるっていうことが一つとして、このプール事業のハイドロセラピーとか、そういうことが準備できたらよいと考えている。まだ順次と考えている。まず単発で提案事業を実施して、ある程度人気があるなしが出てくるので、そういったものを自主事業として展開していくというイメージ。初年度から全部ということでできれば最高であるが、ちょっと難しい。

広報については、チラシを作って展開したからと言って、結局、行政的に貼ってもらえるような市民センターや、学校はある程度知っていただいているのだろうと思っている。これまでではないところに対して広報するというところで、インフルエンサーの活用については、これまでも何人かの方にお願いしてきており、そこまでの経費はかかっていない。もちろん、市政だよりなど使えるものは使う。

（構成員）　役割分担はどうか。

（応募団体）　国際志学園としては、まず事業である。有名選手や有名講師呼んでくるのは、理事長のネットワーク。マンパワーが必要なところは若手。我々はこれまでも他の施設ですけど管理運営してきているということもあるので指定管理の総務、まず経理を滞りなく、ＪＶになるので、またもう一つの口座を作って運用していくということになるので、概ね事務も含めて企画、イベントとかの運営はこれまでもしている。人材的なところと、事務的に動くところとのすみわけ。

（構成員）　メインは、ＡＣＥさんがやられて、人脈的な部分で相談されるということか。

（応募団体）　表に出るのは、ＪＶの比重があるのであくまで国際志学園、我々はバックヤード的な法律的な感じで連携していく。

（構成員）　学校教育施設との連携というのがあるが、体育の授業や部活動の練習場として、どのようなサポートをされるのか具体的に聞きたい。

（応募団体）　体育の授業のサポートは、うちの学校の関連でもグラッチャという小学校１年生から６年生までの事業としている。それに伴って体育の事業という形でサポートはできると考えている。

水泳教室において、これまでの運営で補助をどういったことをされたかわかっているが、現場も望むことを可能な限り貢献する。例えばそれを教えてほしいというのはなかなか難しいが、安全管理や、例えばグルーピングして使いたいというグループに１人学生がいたらよいというのには貢献できる。

部活動については、教育委員会さんがいろいろ今動いているようで、具体的に例えば土日の練習が令和９年９月以降はなくなりますよという中で、まだ具体的にこれから決まっていく内容だと思うが、例えば水泳部だけでなくて、水中でトレーニングしたい運動部の学生に

対して、もうすでに９月から１週目の土日はお休みですよっていうふうになってきていると思うが、そういった人に、プール使って運用できるような機会をまず既存部活に邪魔しないように、提供できたらよいと考えている。

○ 応募団体（西日本スイミングクラブ有限会社）より提案概要に関してヒアリング

（構成員）　子供たちの利用の増加と提案あるが、高齢者の利用増加についてはどう考えているのか。また、近隣の大学や企業と連携し団体利用や福利厚生としての活用を促進とあるが具体的な提案があれば教えてほしい。

（応募団体）　近隣の大学や企業との連携については、ＰＦＩのとき西日本工業大学とチームを作っており、学生の利用に何か貢献できるのではないかというところをもう一度掘り起こしたいと考えている。

高齢者に関しては、私どもはスイミングクラブがメインの企業であり、水中での浮力や抵抗力は高齢者等、足腰が弱っている方に適していると考えている。水中での腰痛改善運動、足腰予防改善、高血圧予防改善などの教室ができたらと思う。それらの資格を持っており、いろんな形で指導、提案できると考える。

まずは子供の水泳授業を行い、時間を見つけて３ヶ月をスパンとした定期的な大人の教室を考えていきたい。

（構成員）　経験、実績はかなりあると思う。現状を見ると正社員３名、その他３名の６名とかなり縮小されていると思うが、あとは外部の人脈を通してというイメージを持った。

（応募団体）　監視業務に関しては別途、人を雇うことを考えており、事業費で上げている。

（構成員）　利用者獲得のための企画等を考えるのは正社員の３名か。

（応募団体）　正社員で企画運営を行っていく。また、自分が有する資格を活用して若者を教育していきたいと考えている。

（構成員）　債務超過になっている財務状況が一番心配である。

（応募団体）　土地を売買した影響等もあるが、問題ないと考えている。

（構成員）　時給が監視業務１，０００円、自主事業は１，３００円となっているが、自主事業は水泳を教えるからなのか。

（応募団体）　インストラクターと監視ということで少し差をつけている。

（構成員）　人件費は正社員と受付ということか。

（応募団体）　そのとおり。受付と監視の責任者である。

（構成員）　人件費は９から１１年度が同じだが賃金アップについては考慮していないということか。

（応募団体）　年々上昇していくが５年後の最低賃金が予想できなかった。

（構成員）　市の提示は４．７％のようだが。

（応援団体）　１０、１１、１２年と自主事業から市へ還付する金額を落として調整している。

（構成員）　営業・広報活動について独自のホームページを運営して施設情報

や利用案内を発信すると書かれているが、何かそれ以外に情報発信の手段として、ご自身たちでされること、ＳＮＳの利用や、それ以外の具体的な何か方法は考えているのか。

（応募団体）　ホームページにＳＮＳをリンクさせる。

先日うちのグループで、先生を呼んで「今後のＳＮＳ活動」という課題の研修を行った。その中でＳＮＳ等を今からどうやって活用しようか。もちろんＡＩも含めて今から、うちのグループとしてどうやって対応していこうかと考えた。今すぐに具体的にと言われてもなかなか困るが、その先生と相談をしながら、正式に指定管理ということになれば、ホームページの立ち上げから、そういったこともお手伝いをお願いしたいと考えている。

今いろんな部分を見ても、利便性や使い勝手、情報発信というのは、ＳＮＳをどんどん活用していきましょうというのが今の世の中の流れになっている。そのようなことは今後考えていきたいと思う。

（構成員）　現在中学校の授業と、水泳の補助事業を行っているということだが、これは思永中のプールで行っているのか。

（応募団体）　そのとおりだが、あくまで教育委員会が主導である。

（構成員）　具体的にどのような補助業務を行っているのか。

（応募団体）　水温の管理や、子どもたちのことである。今年度はバスの送迎も全部担当した。

（構成員）　今後、利用者の目標を例えば３万人を１，０００人増やしたいとした場合、水泳の授業や高齢者の水泳教室も増やしていかないといけないと思うが、何かアイディアがあれば教えてほしい。

（応募団体）　まずは皆さんに、思永中のプールに行ったら安心で安全に利用できる。ということをわかってもらうのが一番である。

大人に関しては、学校授業が行われるときは学校優先、授業が優先になるため、プールの営業時間は１６時に学校授業が終わって、清掃して、はじめて一般開放につなげられるという現状である。学校授業が多くなればなるほど、午前中に利用したい大人の人と、高齢者に関しては、そこら辺の話をしながら、午前中に利用したい人をどうやって夕方にもっていけるかと。こういったことを提案していかないといけないと考えている。

学校プールとしての役割と、市民、高齢者の人の役割、それから学校利用としての利用がもっと増えると、もっと１６時からの営業が増えてくると思う。そこら辺を市の方と協議をしながらいろいろ考えていかない。今すぐという結論はなかなか出にくい。

（構成員）　逆に、小学校、中学校の水泳授業の利用は増えても運営はできるのか。

（応募団体）　それはできる。そこで利用者をいかに減らさないかということを今後、市の方と協議をしていかないといけないのではないか。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。そ

の後、構成員全員で意見交換

（構成員）　最初の提案は、他の指定管理も多く手掛けているということもあり、手堅い提案であったと感じた。冒険しすぎることなく、確実に実現可能な提案であったため、安心して任せられる運営を期待できる。

二番目はユニークな提案で、若者を巻き込み、プールにこれだけの可能性があるというワクワクするような提案に非常に心惹かれる部分が多かった。しかし、具体的に、どれがどれだけ実現できるのか、またこの数字の見込みに関しても、利用者数に関しても、収支に関しても、すべてこの数字が本当に実現可能なのか、どこからこの数字が具体的に出てきたのか、という点に不安を感じる部分があった。

三番目はこれまでの経験が豊富であると感じた。思永中学校のプールについても非常によく理解していると感じたが、利用者数 3 万人の目標達成が最後の 2 年間に設定されている点や、幅広い世代ではなく限られた世代にターゲットを当てている点、広報・周知が弱いと感じる点があった。

（構成員）　私はまず、募集要項に記載されている「水泳授業を行うとともに、教育上支障のない範囲で」という点を第一に質問した。

第一の団体は様々な市内のプール管理経験はあるが、私は経験上、良い点も悪い点も承知しているため、その観点で様々な質問をした。しかし、望んでいた回答ではなかったため、厳しめの点数を付けた。

二番目は、提案自体は非常に面白いものだが、今回の目的に合致しない、あるいは思永中学校のプール運営にはそぐわないと判断した。

三番目に関しては、これまでの経験があり、教育に関しても理解されていると感じたが、数字のミスや運営上の財務的な問題が懸念されたため、その観点で点数をつけた。

（構成員）　一番目の団体については、安定性が高く着実な指定管理が期待できると考えた。

総合力については、他団体と比較して、安定性の意味で一つ優っている部分があったかもしれないが、地域貢献の部分については、さらに踏み込んだ取り組みが必要ではないかと感じた。

二つ目の団体については、従来の枠を超えた非常に意欲的な提案であった。一方で、思永中プールの特性を勘案するとやや冒険的すぎると感じる面や、直接的な安全対策や維持管理を行う企業が構成団体ではなく協力企業という位置づけであり、その意思決定などにおいて不安を感じる点があった。

三番目の団体については、施設を熟知しており実績に裏打ちされた取り組みに十分期待できると考える。しかし、施設利用者増に向けた取り組み等に不足感があると感じ、このように評価した。

（構成員）　私は、三つの団体の中で、最後の団体が最も学校を中心として考えられている仕組みであると感じた。

一つ目の団体は中間的であり、二つ目の団体は現在の学校の方針と少しずれており、やや遊びの要素が入るような考え方であると全体

的に感じた。
　最後の団体に関しては、発表の際にも言及があったが、学校からの送迎は非常に重要な点であると感じた。児童や子供たちを学校にバスで送り迎えしてくれる点は非常に重要であり、保護者目線からは授業の一環として極めて大きな視点であると考えた。

（構成員）　財務の視点から見て、安定性において一番目にスピナを評価した。
　医療スポーツとＡＣＥについては、あまり優れてはいないが問題はないと判断し、中間的な位置付けにしました。ただし、様々な提案は非常に面白いものであり、どこかに適用するにしても、やや遊びの要素や革新的な部分を取り入れてはどうかと考える。
　最後の西日本スイミングクラブは、通常通り運営はされると考えるが、現実的には財務面で懸念があり、企画等がやや弱いと判断し、点数を低くつけた。そのような意味では、最も安全なのは最初の団体であると考えた。

（構成員）　事務局に質問する。先ほど構成員から話のあった授業活用の際の送迎の件だが、その点については今回の指定管理の中でどのような位置付けになっているのか。今後、教育委員会として何か考えがあるのかを教えてほしい。

（事務局）　今回の指定管理業務において、思永中以外の学校が思永中プールを利用する際の送迎は指定管理料に含まれていない。現在、他校集約時は教育委員会が別途、業務委託でバスの送迎をする業者を選定しているが、現在は偶然、西日本スイミングがその業務を受けている形になっている。来年度以降もこの形を継続するので同様に教育委員会が別途手続きを行うことになる。

○ 各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを、

１ 指定管理者としての適性のうち、
（１）施設の管理運営に対する理念、基本方針について
　スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
　九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
　西日本スイミングクラブ有限会社　４
（２）安定的な人的基盤や財政基盤について
　スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
　九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
　西日本スイミングクラブ有限会社　３
（３）実績や経験などについて
　スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
　九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
　西日本スイミングクラブ有限会社　４
２ 管理運営計画の適確性のうち、

（１）施設の設置目的の達成に向けた取組みについて
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　４
西日本スイミングクラブ有限会社　３
（２）利用者の満足度について
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　３
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
西日本スイミングクラブ有限会社　３
（３）指定管理料及び収入について
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
西日本スイミングクラブ有限会社　３
（４）収入計画の妥当性及び実現可能性について
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
西日本スイミングクラブ有限会社　３
（５）管理運営体制などについて
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
西日本スイミングクラブ有限会社　４
（６）平等利用、安全対策、危機管理体制などについて
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　４
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　３
西日本スイミングクラブ有限会社　４
（７）社会貢献・地域貢献について
スピナ・スポーツシンコー共同事業体　３
九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体　４
西日本スイミングクラブ有限会社　３

が妥当であると決定した。

○ 事務局は地元団体に対する優遇措置や優秀事業者に対する優遇措置を反映させたうえでの合計得点を発表。
・スピナ・スポーツシンコー共同事業体、８９点
・九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体、７９点
・西日本スイミングクラブ有限会社、７７点

○ 構成員は、次のとおり検討会としての検討結果（総合的な所見）についてとりまとめた。
合計得点では、スピナ・スポーツシンコー共同事業体が最も高い点となっている。一方、各構成員の５段階評価の単純合計（項目ごとの配点比率を考慮しない場合）をみると、スピナ・シンコースポーツ共同事業体を最も高い点としている

構成員は３名である。九州医療スポーツＡＣＥ共同事業体は０名である。西日本スイミングクラブ有限会社は２名となっている。人数でみてもスピナ・スポーツシンコー共同事業体が多い。

本検討会として、総合点が最も高いスピナ・シンコースポーツ共同事業体を思永中学校温水プール指定管理者候補に相応しいと判断する。

検討会としての総合的な所見として、

・三つの団体からそれぞれ特色のある、非常に意欲的な提案がなされた。

・その上で、三団体とも優れた点がある中で、スピナ・シンコースポーツ共同事業体がいずれの項目を見ても総合的に最も評価が高かった。

・スピナ・シンコースポーツ共同事業体が総合的な安定感があった。

とする。市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。なお、検討会の付帯意見として、

・教育施設としての本義を鑑み、提案の目的を達成するような事業運営を行っていただきたい。

を付することとする。

○ 最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。